

へき地におけるデジタル技術を活用した医療提供体制の充実について

都は、令和3年3月、都政の新たな長期計画として「『未来の東京』戦略」を策定

- ▶ 2030年に向けて取り組むべき21項目の戦略の1つに「多摩・島しょ振興戦略」を設定、戦略実行のため17項目の推進プロジェクトを提示

へき地の医療に関する推進プロジェクト

- * 14. 多摩・島しょ地域における医療の充実
 - ⇒ 高齢化の進展や医療資源が区部に比べて少ないという多摩・島しょ地域の課題を踏まえ、誰もが必要な医療を受けられる体制を整備
- * 17. デジタル技術を活用した島しょ地域の社会課題の解決
 - ⇒ 5Gネットワーク等の積極的な活用により、サステナブルな島しょ地域の発展モデルをつくる。



令和4年度の取組

1 取組の方向性に関する検討

デジタル技術の導入とその活用のための体制構築、環境整備等を推進するための短期及び長期的な取組の方向性について検討を実施

協議会で検討

2 ニーズ把握

各町村における個別の地域特性・課題等を踏まえ、ニーズ把握や先進事例等の応用による課題解決の可能性等について調査を実施

業務委託を活用

	令和4年度				令和5年度～
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	
協議会開催	●			●	DX活用の取組を推進
ニーズ等の調査	課題調査	事前アンケート	★ 医療機関の実地調査 課題や意向のヒアリング 通信環境の調査		
	意向調査				
	通信環境調査				
	その他		他県の先進事例を収集	課題解決策の提案	

へき地医療におけるデジタル技術の活用について

- 高齢化の進展や医療資源が都市部に比べて少ないというへき地の課題を踏まえ、今後、医療分野においてデジタル技術をどのように活用していくべきか

〔へき地においてICT(情報通信技術)を活用する目的〕

- 必要な情報の伝達・提供・共有や、医療の提供をネットワークを介して迅速かつ円滑に行う。
 - 医療資源へのアクセス環境の改善
 - 医療関係職種の特長性の活用
 - 医師の働き方改革への寄与
- ⇒ 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進

〔ICTを活用する前提〕

- ICTを活用した医療が十分に効果を発揮するためには、遠隔医療等を利用する関係者の間で円滑なコミュニケーションが行われていることが必要。
- ⇒ 通信インフラや情報システム等を整備するだけで効果が得られるものではなく、関係者間の良好な人的ネットワークによって積極的・効果的に活用されるものである。

(総務省 遠隔医療モデル参考書(2022年4月28日版)から引用)

取組の方向性に関する検討

- 個別の地域特性や課題、ニーズを把握すると共に、ICTを活用した医療による課題解決の可能性等を調査する。
- 調査結果を踏まえ、地域単位の具体策や、へき地全体で統一的に取り組む対策等を検討する。
検討では、以下の短期及び長期的な取組の方向性についても検討する。
 - ① 既存事業の拡充等により早期に取り組む対策
 - ② 関係者間の連携推進により新たに取り組む対策
 - ③ 環境整備・条件整備が進み次第、体制整備を目指す対策(例:地域医療連携ネットワーク参加)

調査項目

- 行政機関への調査 …… へき地町村を対象に、医療行政の課題やICTの更なる活用に関する意向等をアンケートする。
(都実施)
- 医療機関への調査 …… へき地町村の公立医療機関を対象に、通信環境の詳細を確認すると共に、医療シーン別の課題やニーズについて、ヒアリングを実施する。また、課題解決の参考とするため、他県の先進事例を収集する。(都による業務委託(実地調査))

デジタル技術の活用に係る検討内容（案）

厚生労働省ホームページ「医療分野の情報化の推進について」及び、総務省 遠隔医療モデル参考書(2022年4月28日版)から引用・整理

デジタル技術の活用段階

1 情報化

- 医療機関内の情報化を進めることにより、院内業務や医療機関間における情報連携が効率的に行えることが期待される。

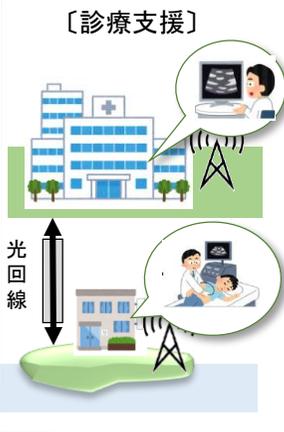
電子カルテシステム

2 遠隔医療

- 医療の質の向上、患者の利便性の向上、離島やへき地などにおける医療の地域差の是正等、地域医療の充実の観点から重要と位置づけられる。

① 医療従事者間の遠隔医療

デジタル技術の活用例



活用例	活用内容
画像診断支援	遠隔放射線画像診断 遠隔病理画像診断
診療支援	遠隔コンサルテーション(専門診療支援) 遠隔救急支援 遠隔ICU 遠隔手術指導
教育・学習	遠隔カンファレンス (遠隔教育、トレーニング等)
情報共有	12誘導心電図電送

② 医療従事者と患者間の遠隔医療

デジタル技術の活用例



オンライン診療 オンライン受診勧奨 遠隔健康医療相談(遠隔モニタリングを含む)

現状

診療録電子化(電子カルテ)の状況・二次医療圏別

	医療圏	総数	導入済	R4までに導入予定	導入率(予定含む)
病院	東京都(全体)	638	345	65	64.3%
	西多摩	30	12	6	60.0%
	島しょ	1	1	0	100.0%
診療所	東京都(全体)	13,889	7,674	340	57.7%
	西多摩	252	115	8	48.8%
	島しょ	18	10	3	72.2%

- 島しょ医療圏の導入率は東京都全体の導入率より高い。
- 電子カルテを利用した診療情報の相互参照(地域医療連携ネットワーク)は未整備

(厚生労働省 医療施設調査(令和2年10月1日)より)

「島しょ医療用画像電送システム」を運用

東京都、都立広尾病院、島しょ診療所等との間に、「遠隔読影機能」及び「ウェブ会議機能」を持つ画像電送システムを整備し、島しょ医療機関に勤務する医師の診療活動等を支援している。

	デジタル技術の活用例	画像電送システムでの対応状況
画像診断支援	遠隔放射線画像診断 遠隔病理画像診断	機能あり 機能なし
診療支援	遠隔コンサルテーション(専門診療支援) 遠隔救急支援 遠隔ICU 遠隔手術指導	機能あり 機能あり 機能なし 機能なし
教育・学習	遠隔カンファレンス (遠隔教育、トレーニング等)	機能あり
情報共有	12誘導心電図電送	機能なし

- 山間へき地の公立医療機関では、遠隔放射線画像診断を利用している。

オンライン診療等の実施状況

デジタル技術の活用例	へき地町村での実施状況
オンライン診療 オンライン受診勧奨 遠隔健康医療相談(遠隔モニタリングを含む)	実施なし (新型コロナウイルス感染症の感染拡大時に実績あり:2町村)